

平和首長会議加盟自治体の皆様

平素より平和首長会議の活動にご支援・ご協力いただき、心より感謝申し上げます。
平和首長会議の近況をお知らせします。

<<今号の内容>>

- ◆広島・長崎両市長が平和宣言を発表
- ◆世界各地でのヒロシマデー・ナガサキデーの行事
- ◆第4回平和首長会議国内加盟都市会議の開催について
- ◆被爆樹木の苗木の配付事業及び「平和の灯」の分火事業の御案内
- ◆モントリオール市長（カナダ）等が広島を訪問—リーダー都市就任を承諾
- ◆イラン「化学兵器被害者支援の会」一行が広島を訪問
- ◆地中海平和都市フォローアップ会議[10月2日-3日、グラノラズ（スペイン）]
- ◆ドイツ平和首長会議の平和への取組[7月8日フラッグデー、7月17-19日Pacemaker ツアー]
- ◆被爆体験証言がオーストラリアでラジオ放送されました
- ◆国際赤十字：広島と長崎を忘れない「核軍縮は人道上の責務」
- ◆加盟都市の活動紹介（川口市（埼玉県）、リオグランデ市（アルゼンチン））
- ◆平和首長会議原爆ポスター展を開催しましょう！
- ◆「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める市民署名活動を展開しましょう！
- ◆7月の平和首長会議会長訪問
- ◆平和首長会議加盟自治体数：160か国・地域 6,206自治体

~~*~*~*~*~*~*~*

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック！

ホームページ：<http://www.mayorsforpeace.org/jp/index.html>

フェイスブック：<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>「いいね！」をお待ちしています。

~~*~*~*~*~*~*~*

=====

◆広島・長崎両市長が平和宣言を発表

=====

被爆69周年を迎えたこの夏、広島市では8月6日の平和記念式典において松井市長が、長崎市では9日の長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典において田上市長が、それぞれ平和宣言を発表しました。松井市長は、「加盟都市が6,200を超えた平和首長会議では世界各地に設けるリーダー都市を中心に国連やNGOなどと連携し、被爆の実相とヒロシマの願いを世界に拡げます。」との決意を述べました。

両市の平和宣言の全文は、次のリンクからご覧いただけます。

▼広島市

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/00000000000000/1110537278566/index.html>

▼長崎市

<http://www.city.nagasaki.lg.jp/peace/japanese/appeal/>

=====

◆世界各地でのヒロシマデー・ナガサキデーの行事

=====

広島・長崎における8月6日及び9日の原爆忌に際し、世界各地の加盟自治体や平和団体等で慰霊や平和を祈念する行事が実施されました。ここでは、その一部を簡単にご紹介します。

[国内]

- ・ 橿原市（奈良県）：8月1日から、平和への願いを込めた折鶴を折っていただくための「平和の折鶴」ブースを設置。
- ・ 国立市（東京都）：8月9日に「平和ミニコンサート」及び「戦争体験を聞くつどい～原爆を語り継ぐ」を実施。「ふつうの日になったのか原爆の日」展として、公募した「原爆の日を忘れないためのコトバ」を市内諸施設で展示（開催期間8月4日～22日）。
- ・ 喬木村（長野県）：毎年「広島平和のバス運行事業」を行い、今年も小中学生を始めとして約40名の村民が平和記念式典に参列し、千羽鶴を捧げた。
- ・ 広島市（広島県）：8月9日「長崎原爆犠牲者慰霊の会」を開催。

[アルゼンチン]

- ・ リオグランデ市：8月6日、7日に「リオグランデの対話」会議を開催。
- ・ ビジャメルセデス市：8月5日、市議会議長が8月6日を平和の日に制定することを宣言し、8月6日、日本語学校及び市の文化会館で追悼行事を開催。

[英国]

- ・ マンチェスター市：市長、欧州議会議員2名、マンチェスター広域市の警視総監、市議会議員、多数の平和・人権団体等が参加した行事において、白い花輪の献花、誌の朗読、2分間の黙とうを実施
- ・ 英国核軍縮キャンペーン（CND）による、7マイルの毛糸のスカーフを広げ、数百人の参加者が運んで英国の2つの核兵器施設をつなぐ、ナガサキデー全国行事「兵器に反対する毛糸」
- ・ シェフィールド市：8月3日に広島追悼式典及び8月12日に長崎平和ピクニック
- ・ その他、ロンドン、バーミンガム、グラスゴー、エジンバラ、ダブリン、カーディフ、スラネリ、ブラッドフォード、リーズ、ミルトン・キーンズ、ダンディー、ペイズリー、アバディーン、オックスフォード、リバプール等多数の都市でヒロシマデー・ナガサキデー行事を実施

[ギリシャ]

- ・ 8月6日に IPPNW 等複数の NGO 主催の核軍縮に関する会議

[ドイツ]

- ・ ベルリン：IPPNW や独日平和フォーラム等による8月6日に毎年ヒロシマデーの行事
- ・ フランクフルト：IPPNW の協力により8月6日に平和首長会議の旗を掲揚

[オーストリア]

- ・ ウィーン市：8月6日に灯籠行進

[米国]

- ・ 8月6日にオークリッジ核兵器施設前での NGO 主催による平和宣言の読み上げ及び「ネバーアゲイン」と訴える集会
- ・ リバモア核兵器研究所前で NGO による抗議集会。8月6日8時15分にサイレンを鳴らし黙とうの後、長崎のために再度サイレンを鳴らし、ダイ・イン（参加者が犠牲者に擬して大地に横たわる抗議）を実施
- ・ ワシントン DC：8月6日に被爆体験証言を聴き、祈る会

[インド]

- ・ インパール市：8月6日及び9日に元芸術文化大臣及びインパール市長主催の式典を開催し、広島・長崎の平和宣言を読み上げ、子どもたちの平和の絵コンクールを実施

[イラン]

- ・ エスファラーイェン市：8月7日に、大量破壊兵器のない平和な世界を願う、市が主催の青少年を対象とした布に描く絵画コンクール

[イラク]

- ・ハラブジャ市：8月6日及び9日に、ハラブジャ慰霊碑の前で、市長、化学兵器被害者、市職員等が参列してのヒロシマデー・ナガサキデー追悼行事。写真展も開催
[メキシコ]
- ・サラマンカ市：8月6日に広島被爆69周年記念「サラマンカ・フォー・ピース」
[ロシア]
- ・ボルゴグラード市：8月6日に市長、同市及び広島市の名誉市民、平和・友好団体、青少年が参加しての平和記念式典。平和の鐘を鳴らし、折鶴等を捧げた。

他、多数。

全国及び世界各地での原爆犠牲者への追悼と平和を願う連帯の取組に感謝します。

=====

◆第4回平和首長会議国内加盟都市会議の開催について

=====

平和首長会議では、国内における取組の充実を図るため、平成23年度から毎年度、国内加盟都市会議を開催しています。平成23年度と昨年度は広島市で、平成24年度は長崎市で開催しました。

今年度は、8月13日付けのEメールにて御案内したとおり、長野県松本市において第4回目となる国内加盟都市会議を開催いたします。

貴自治体におかれましては、当会議への出席を御検討いただければ幸いです。御参加いただける場合は、Eメールで送付した案内に添付しておりました「出欠等連絡票」により9月17日（水）までに御回答くださいますようお願い申し上げます。一人でも多くの皆様の御参加を心よりお待ちしております。

日程：平成26年11月10日（月）、11日（火）

場所：ホテルブエナビスタ「グランデ」（長野県松本市本庄1-2-1）等

※詳細については、8月13日付けの案内を御確認ください。

▼国内加盟都市会議のこれまでの実施状況はこちらから御確認いただけます。

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/jpmeeting/index.html>

=====

◆被爆樹木の苗木の配付事業及び「平和の灯」の分火事業の御案内

=====

平和首長会議では、昨年の第8回平和市長会議総会において策定された行動計画の具体的取組である被爆樹木の苗木の配付事業及び「平和の灯」の分火事業を、今年度から開始しました。

被爆樹木又は「平和の灯」の受け入れを希望される場合、所定の申請書をEメール又はFAXにて事務局までお送りください。

なお、被爆樹木の苗木には、配付本数に限りがあるため、万一不足することになった場合には翌年度以降の送付となりますので、あらかじめ御了承ください。

※ 当該事業は、通年で行っているため特に申請期限はありません。また、当該事業は、来年度以降も継続して実施しますので、来年度以降の受け入れについても、是非御検討いただければ幸いです。

▼Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

▼FAX: 082-242-7452

=====

◆モントリオール市長（カナダ）等が広島を訪問—リーダー都市就任を承諾

=====

コデール・モンリオール市長（カナダ）が平和記念式典参列のため広島市を訪問し、平和首長会議の松井会長（広島市長）と面会しました。松井会長からコデール市長に対し平和首長会議リーダー都市への就任を要請したところ、その場で快諾していただきました。同市はカナダにおけるリーダー都市を務める予定です。

他に、副会長都市であるボルゴグラード市（ロシア）のタイエフ市議会議員や加盟都市であるホノルル市（アメリカ）のコールドウェル市長も同時期に広島市を訪問しました。

=====

◆イラン「化学兵器被害者支援の会」一行が広島を訪問

=====

8月3日から8日、イランの「化学兵器被害者支援の会」一行が広島を訪問し、8月7日、平和首長会議の松井会長（広島市長）と面会しました。「化学兵器被害者支援の会」によって設立されたテヘラン平和博物館は、活発な加盟要請活動を行った結果、この1年間で、270都市の加盟都市を増やすことに成功しました。面会の際、同館の平和首長会議コーディネーターであるモハマド・レザーイー氏に、今回同国から加盟した37都市のうちの1都市の加盟認定証が松井会長から手渡されました。「化学兵器被害者支援の会」のファティアン理事は、今後5年間でイランの全自治体の加盟を目指したいとの決意を述べました。

同会は、広島のNGO「モーストの会」を通じて2004年から毎年8月に広島を訪問しており、今回が11回目の広島訪問です。今回の訪問には、8月2日から8日に広島市で開催された「広島イラン 愛と平和の映画祭」に関する映画監督や俳優も多く参加しました。

=====

◆地中海平和都市フォローアップ会議

[10月2日-3日、グラノラーズ（スペイン）]

=====

昨年9月20日～21日に平和首長会議副会長都市であるピオグラード・ナ・モル市（クロアチア）、グラノラーズ市（スペイン）、フランス平和首長会議（AFCD RP）及びAFCD RP 会長都市であるオーバーニュ市の共催により、オーバーニュ市において第1回地中海平和都市会議が開催されました、15か国から130名が参加し、「平和文化の発展における地域レベルの政策」をテーマに意見が交わされ、地中海地域で平和首長会議の取組を推進し、核兵器廃絶に尽力すること等を盛り込んだ最終アピールが採択されました。その際、2014年にグラノラーズでフォローアップ会議を開催することが決定されたものです。

フォローアップ会議は、昨年の会議の成果を踏まえ、地中海地域における平和首長会議加盟都市間の連携強化を目的として、10月2日から3日に、グラノラーズ市で開催されます。

▼問い合わせ（グラノラーズ市）

canjonch@ajuntament.granollers.cat

=====

◆ドイツ平和首長会議の平和への取組[7月8日フラッグデー、7月17-19日 Pacemaker ツアー]

=====

7月8日、平和首長会議副会長都市であるハノーバー市の呼びかけにより、ドイツの多くの加盟都市の市庁舎に平和首長会議の旗が掲げられました。旗の掲揚は、反核兵器及び平和な世界への願いをこめたものです。第3回ドイツ平和首長会議フラッグデーには140の自治体が参加し、ハノーバー市では、地元NGOの学生等も参加しました。

フラッグデーは、1996年7月8日に、国際司法裁判所が、核兵器使用の威嚇でも国際法に違反するとの勧告的意見を公表したことを記念するものです。

また、7月17日から19日までの間、50人のサイクリストがシュトゥットガルトからベルリンまで「Pacemaker ツアー」を実施しました。シュトゥットガルト市長も、同市域の区間を一行とともに走行しました。一行は途中、ルートにある平和首長会議の各加盟都市に立ち寄り、加盟都市であるムトランゲン

市長及びオーストラリア州知事が起草した、核兵器の近代化を批判し平和首長会議代表団との面会を要請する、メルケル首相宛の公開書簡への署名を集めました。

▼関連記事（ドイツ平和首長会議ウェブサイト、ドイツ語）

<http://www.mayorsforpeace.de/presse/artikel/3a9fca9d5ef15c0073adb84c522fa73a/staedte-zeigen-flagge-fuer-das-verbo.html>

▼フラッグデーに関する関連記事（平和首長会議ウェブサイト、英語）

http://www.mayorsforpeace.org/english/activities/memberscity/2014/July_Germany/Flag_Day.html

▼「Pacemaker ツアー」に関する関連記事（平和首長会議ウェブサイト、英語）

http://www.mayorsforpeace.org/english/activities/memberscity/2014/July_Germany/Pacemaker.html

=====
◆被爆体験証言がオーストラリアでラジオ放送されました

=====
昨年 8 月の第 8 回平和市長会議総会において行われた松島圭次郎さんの英語による被爆体験証言が、本年 8 月 6 日、パース市（オーストラリア）の FM ラジオで放送されました。同証言は、次のウェブサイトでもお聴きいただけます。

▼松島圭次郎氏の被爆体験証言（英語）

<http://rtrfm.com.au/story/understorey-hiroshima-a-gentle-telling-of-an-horrific-tale/>

=====
◆国際赤十字「広島と長崎を忘れない：核軍縮は人道上の責務」

[8 月 7 日]

=====
近衛 忠輝（＝火偏に軍）国際赤十字・赤新月社連盟会長およびペーター・マウラー赤十字国際委員会総裁は、「広島と長崎を忘れない：核軍縮は人道上の責務」と題する共同声明を発表しました。次のウェブサイトから全文をご覧ください。

▼「広島と長崎を忘れない：核軍縮は人道上の責務」（フォーリンプレスセンター ウェブサイト）

<http://fpcej.jp/useful/wjn/p=23696/>

=====
◆加盟都市の活動紹介

=====
*川口市（埼玉県）

平成 26 年度川口市平和展～今に伝える戦争と家族の絆～ [2014 年 7 月 19 日～23 日]

川口市は昭和 60 年（1985 年）12 月 21 日、「川口市平和都市宣言」を市議会全会一致で可決し、宣言しました。昭和 63 年（1988 年）から、市民に戦争の悲惨さと命の尊さを伝え、平和で豊かな社会を築いていくために毎年 1 回「川口市平和展」を開催しており、今回で 27 回目です。JR 川口駅前の川口市立中央図書館・メディアセブンで開催した今回の川口市平和展には、延べ 4,808 人が来場しました。

本年は、特別展示として主に「川口市教育委員会」の所蔵品を用いて、戦時下の住まいの再現と家族の写真や子どものあそびの展示をしました。また、特別企画として、開催初日には、現代に復活した紙芝居師、梅田佳声さん・森下昌毅さんによる「街頭紙芝居」を上演し、2 日目には、埼玉ピースミュージアムの学芸担当職員による当時の実物資料で平和を学ぶ「ピースキャラバン」を実施しました。

更に、「昔あそび」の実施や、市内の子どもたちを対象に毎年実施している、東松山市にある「埼玉ピースミュージアム（埼玉県平和資料館）」への見学会の感想を絵や作文で表現した作品の展示、東京都千代田区「昭和館」所蔵のパネルや実物資料による「戦中～戦後の時代解説」、青木町平和公園と平和記念碑に関する展示、平和に関する 16 本のビデオ上映のほか、平成 21 年（2009 年）8 月に加盟した平和首長会議

の被爆の実相等に関するポスターの展示を行いました。

▼詳細記事（川口市ウェブサイト）

<http://www.city.kawaguchi.lg.jp/kbn/08010021/08010021.html>

*リオグランデ市（アルゼンチン）

「リオグランデの対話」会議 [8月6日、7日]

かつて紛争を経験したリオグランデ市では、南大西洋地域における平和と協力の構築及び将来の紛争防止を目的として、各自治体が国の政策を見守るだけでなく、平和構築に携わることを呼びかける「リオグランデの対話」会議を実施しました。国連の南大西洋平和協力地帯（ZOPACAS）代表や市民団体も参加し、自治体と各団体が、気候変動、薬物、軍拡、大量破壊兵器の拡散等、安全を脅かす現在の共通課題の解決に取り組むことで合意しました。

▼詳細記事（平和首長会議ウェブサイト、英語）

http://www.mayorsforpeace.org/english/activities/membercity/2014/140806-7_RioGrande/english.html

この他、上述のエスファラーイェン市（イラン）、ハラブジャ市（イラク）、ビジャメルセデス市（アルゼンチン）、サラマンカ市（メキシコ）、ボルゴグラード市（ロシア）の活動も、平和首長会議ウェブサイト加盟都市の活動コーナー（英語）でご覧いただけます。

<<貴自治体の平和活動の情報をお知らせください>>

平和首長会議ホームページの「加盟都市の活動」コーナーに掲載する情報をお待ちしています。広島・長崎の原爆記念日にちなんだ行事のほか、貴自治体の戦災等に関する記念日や終戦記念日の行事、国際平和デー、その他、平和に関する様々な事業の情報をぜひお知らせください。

貴自治体のホームページにリンクする形でご紹介しますので、記事のタイトル、英語版の有無、リンク先等の詳細を、次のアドレスにご連絡ください。

▼Eメール: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

▼加盟都市の活動（平和首長会議ウェブサイト）

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/membercity/index.html>

=====

◆平和首長会議原爆ポスター展を開催しましょう！

=====

平和首長会議では、加盟都市が5000を突破したことを記念し、2012年6月のオーストリア・ウィーン市での開催を皮切りに、平和首長会議原爆ポスター展に国内外の加盟都市を挙げて取り組んでいます。

現在までに新宿区（東京都）や堺市（大阪府）、ロンドン市（イギリス）、ボルゴグラード市（ロシア）、カブール市（アフガニスタン）など、250を超える自治体がポスター展を開催しています。

7月には、国内では上述の川口市（埼玉県）が、川口市平和展にあわせて7月19日から23日まで原爆ポスター展を開催したほか、姫路市（兵庫県）が7月12日から8月8日まで開催しました。海外では、イタリアのミラーノ市（Mirano）が、6月に続いて第2回となる展示を7月26日から8月10日まで同市議会議場で開催し、ヴェネツィア県の全市長をオープニングに招待し、平和首長会議への加盟要請を行いました。

引き続き、ポスター展の開催にご協力ください。

※ポスター概要：標準サイズA2版、18枚

▼ポスター展の詳細及びポスターのダウンロード：

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/projects/poster/index.html>

=====

◆「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める市民署名活動を展開しましょう！

2020年までの核兵器廃絶を実現するために最も効果的な方法は、世界のすべての国が「核兵器禁止条約」を締結することです。「核兵器禁止条約」とは、核兵器の製造、保有、使用等を全面的に禁止する条約です。

その早期実現を目指し、2011年11月の理事会及び2012年1月の国内加盟都市会議において、条約の交渉開始等を求める市民署名活動を加盟都市を挙げて展開することが決定されました。署名活動は第8回総会で決定した行動計画にも掲げられています。

皆様のご協力により、2014年8月1日現在、1,011,821筆の署名が集まっています。

今後とも、全加盟都市を挙げて積極的に署名活動を展開しましょう。

(署名はインターネットからも可能です。)

▼署名用紙 (PDF)

http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/01_monthly_updating/11_petitionform_jp.pdf

▼オンライン署名

<https://www.ssl-z.city.hiroshima.jp/pcf/jp/form.htm>

▼関連情報：広島市の市民署名活動の展開

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/00000000000000/1333414321137/index.html>

◆7月の平和首長会議会長訪問

松井一實広島市長・平和首長会議会長は、7月に次のような外国人来訪者の表敬訪問を受けました。その際に平和首長会議の取組および加盟要請への協力をお願いしました。

*7月7日(月) クレール・ドゥロンジエ ケベック州政府在日事務所代表

*7月28日(月) ローラン・ヴェールリ スイス・モントルー市長

▼関連情報：広島市/日々の動静—2014年7月

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/00000000000000/1404122755168/index.html>

◆平和首長会議加盟自治体数：160か国・地域 6,206自治体

皆様のご理解とご協力により、今月79都市が新たに加盟し、平和首長会議の加盟自治体数は8月1日現在で6,206自治体(160か国・地域)となりました。

日本国内では、北海道紋別市等31自治体(4市20町7村)が加盟し、国内加盟都市数は1,491都市(加盟率85.6%)となりました。今回、鹿角市の加盟により秋田県内の全自治体が、揖斐川町及び東白川村の加盟により岐阜県内の全自治体が平和首長会議に加盟しました。これにより、1府16県(秋田県、埼玉県、千葉県、山梨県、長野県、岐阜県、三重県、滋賀県、大阪府、和歌山県、島根県、岡山県、広島県、山口県、愛媛県、高知県、大分県)において全自治体が加盟したことになります。

海外については、コモロ(アフリカ)の赤新月社関係者の尽力により、同国から初めて首都モロニ市を含む3都市が加盟しました。また、平和NGOピースボートが第7回「ヒバクシャ地球一周 証言の航海」の寄港地で加盟を呼び掛けたことにより、モトリル市(スペイン)が加盟した他、モンテネグロ(ヨーロッパ)から初めてコトル市が加盟しました。コモロ、モンテネグロからの初加盟により、平和首長会議のネットワークは158か国から160か国に広がりました。更に、テヘラン平和博物館の呼び掛けにより、イランの37都市が新たに加盟し、同国の加盟都市数が311都市となりました。この他、フランスから4都市、ドイツ、アメリカからそれぞれ1都市が加盟しました。

引き続き近隣未加盟自治体や姉妹都市への働き掛けなど皆様のご支援をよろしくお願ひします。

▼8月1日付新規加盟自治体一覧

http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/2014/newmembers1408_jp.pdf

▼加盟自治体マップ

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/membercity/map.html>

*** 本メールニュースに関するご意見、お問合せ、
連絡先変更等は下記までご連絡ください***

平和首長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町1-5

(公財) 広島平和文化センター 国際部 平和連帯推進課

TEL:082-242-7821 FAX:082-242-7452

Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp